



「社会の変化に負けない たくましい子どもたちを育てる」

市村自然塾 総合塾長 桜井 正光
(株式会社リコー 取締役会長執行役員)



創始者である浜田前会長の「たくましい若者を育てたい」という強い想いからスタートした市村自然塾も、昨年は関東が、そして今年は九州が10周年を迎えることができました。保護者の皆様、自然塾スタッフ、その他のご支援いただいた全ての皆様に心よりお礼申し上げます。特に、九州は設立以来、地域の多くの方々に多大なご支援を頂いており、深く感謝申し上げます。

さて、現在の日本は少子高齢化が進むとともに、デジタルネットワーク化の進展により、子どもたちの日々の生活もバーチャルな世界に埋めつくされ、仲間と直接触れ合う交流体験が少ない、真の相談相手が少ない、社会から孤立しそうな子どもたちが増えてきました。

私は、近所づきあいが日常生活の一部という下町で生まれ育ちました。近所のおじさん・おばさん達も親みたいな存在で、叱られたり、褒められたり、相談にのってくれたりしました。また、学校では、先生もそうでしたし、同じ年代の子どもばかりか、年上の子も下の子も、一緒に遊び、喧嘩し、成長してきました。いま思えば、このような体験の中から人と人の触れ合いや社会との関わりを学んできたように思います。

しかし、残念ながら、現在はこのような親代わりや先生代わりが少なくなってきた様です。私達は、この様に厳しい

状況におかれた子どもたちに、もう一人の大自然という大先生からも“生きる力”を学びとってもらいたいという想いから、この自然塾を開設しました。したがって、ここでは、子どもたち自身が「農作業」と「共同生活」を通して、自分の体験から、いのちの大切さや人間の生き方として大切なものを学びとってもらう場です。

自然塾の活動を通して、大自然と、そして仲間と関わる中で、「自然を慈しむ心」「相手を思いやる心」「自分のことは自分でやる力」といった“生きる力”を身につけ、たくましく育てて欲しいと願っています。

設立から10年が経ち、関東と九州を合わせて約1000名の卒業生を送りだしてきたことに、大きな誇りと喜びを感じています。

いよいよ卒業生が社会に羽ばたく時期を迎えました。自然塾で身につけた“生きる力”を思う存分発揮し、自らの目標にチャレンジし、社会のリーダーとして活躍してくれることを心から期待しています。

これからも基本理念を守りつつ、時代の変化に対応した新たな試みを行いながら継続して子どもたちの成長を支援して参ります。